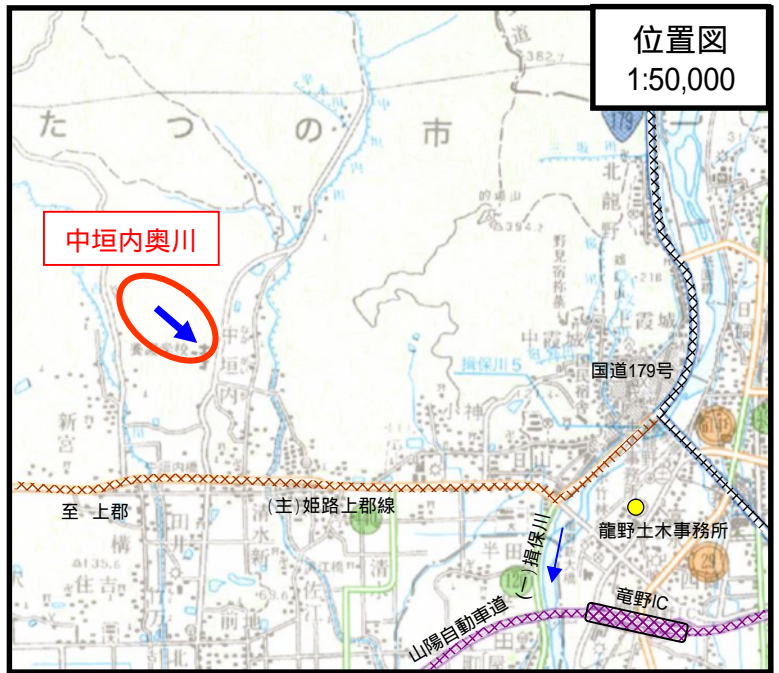


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5億円
		通常砂防事業 なかがいちおくかわ 中垣内奥川	たつの市 いっさいちようなかがいち 揖西町中垣内	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
たつの市揖西町中垣内				H24	H26
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 11.0m, L = 50.0m) (H = 10.0m, L = 40.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)揖保川水系中垣内川に流入する土石流危険溪流 ・流域は、風化が進行しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である特別支援学校があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ200m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・播磨特別支援学校(災害時要援護者関連施設)、市道				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成21年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・施設周辺の道路利用に地元の理解が得られており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・自力による避難が困難な災害時要援護者が利用する施設があることから、早期着手に対する施設からの要望が強い。 以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

なかがいちおくがわ
中垣内奥川
 [たつの市]



計画概略図
 縮尺 1 : 2,500

